

# 広島らしい教育の推進



平和記念式典「平和への誓い」

広島市教育長 糸山 隆

# 広島市の人口

## 現 状

- 少子高齢化と人口減少
- 結婚・出産・子育ての希望が叶っていない

人口オーナス期※へ転換、東京圏関西圏への転出超過

合計特殊出生率1.49

【広島市総人口の将来推計】(国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来人口推計) ※従属人口(高齢者等)が多く、生産年齢人口が少ない状態

2010年 総人口: 117.4万人

年少人口: 16.8万人(14.3%) 生産年齢人口: 76.9万人(65.5%) 老年人口: 29.3万人(24.7%)

うち75歳以上人口: 10.9万人(9.2%)

このままいくと...

|             | 2025年             | 2040年         | 2060年         |
|-------------|-------------------|---------------|---------------|
| 総人口(2010年比) | 117.3万人<br>(100%) | 109.3万人(93%)  | 93.3万人(79%)   |
| 年少人口(総人口比)  | 14.3万人(12.2%)     | 12.1万人(11.1%) | 9.7万人(10.4%)  |
| 生産年齢人口(同上)  | 69.7万人(59.4%)     | 59.1万人(54.1%) | 48.4万人(51.8%) |
| 老年人口(同上)    | 33.3万人(28.4%)     | 38.1万人(34.8%) | 35.2万人(37.8%) |
| (うち75歳以上人口) | 20.2万人(17.2%)     | 21.7万人(19.9%) | 24.2万人(25.9%) |

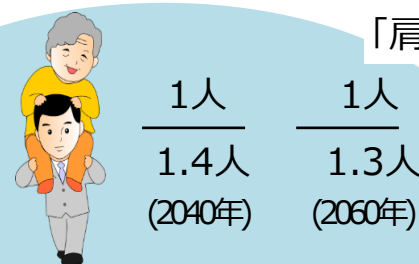
「出生率の向上」  
(市民希望出生率1.81)  
と  
「若い世代の呼び込み」  
(東京圏・関西圏への  
転出超過抑制・移動均衡)  
の実現により  
人口110万人台を維持  
(本市人口ビジョン※)

※H28年3月策定



増える ↗

減る ↘



その場合であっても  
「肩車型」の人口構造

# 広島市の園児・児童・生徒数

H28. 5. 1

| 校種<br>(合計)        | 市立                  | 県立・国立等              | 私立                  |
|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 幼稚園<br>(13,254人)  | 1,114人<br>( 8.4%)   | —                   | 12,140人<br>( 91.6%) |
| 小学校<br>(67,166人)  | 65,276人<br>( 97.2%) | 850人<br>( 1.3%)     | 1,040人<br>( 1.5%)   |
| 中学校<br>(34,692人)  | 28,822人<br>( 83.1%) | 635人<br>( 1.8%)     | 5,235人<br>( 15.1%)  |
| 高等学校<br>(34,771人) | 5,537人<br>( 15.9%)  | 12,845人<br>( 37.0%) | 16,389人<br>( 47.1%) |

# 広島市立の学校は

H28. 5. 1

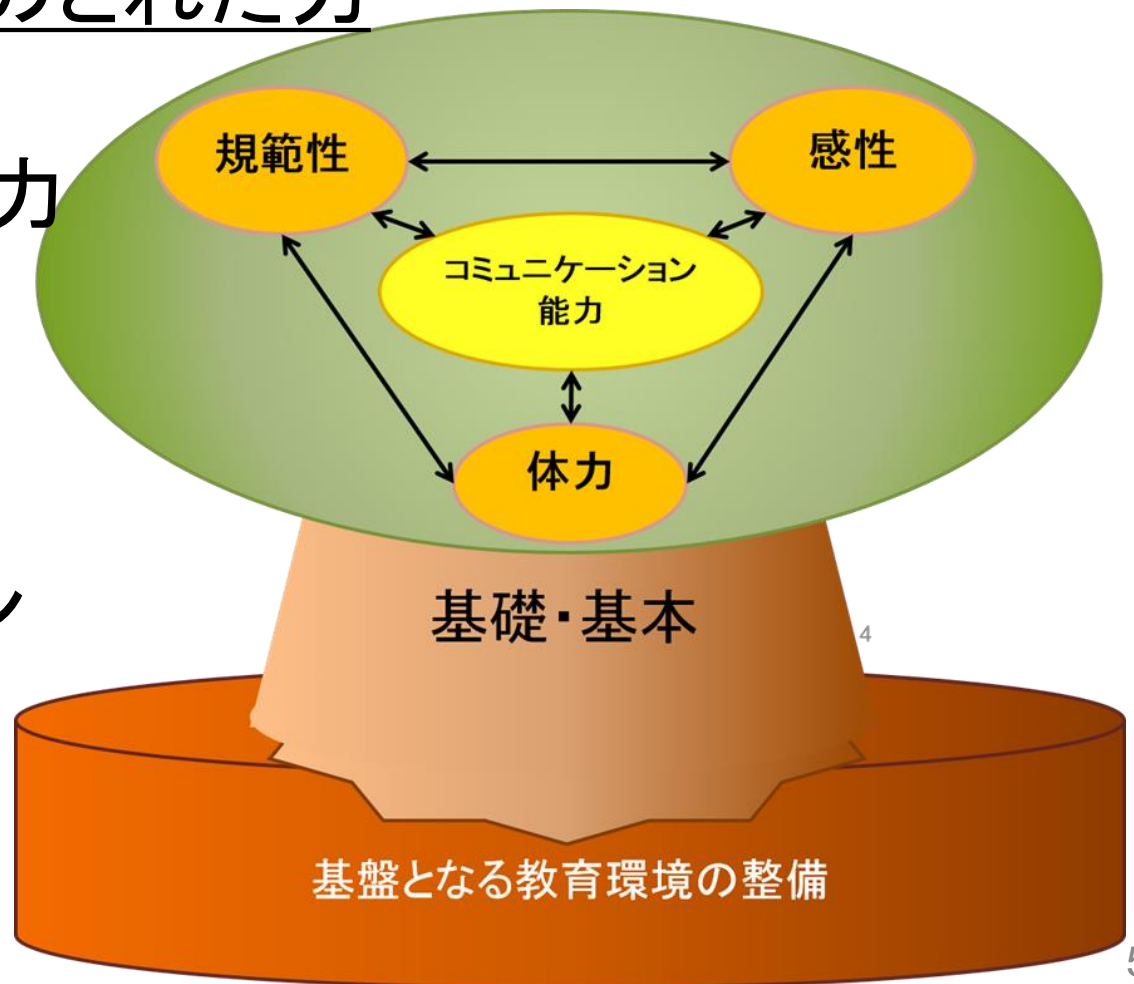
| 校種                | 学校数     | 幼児児童<br>生徒数    | 教職員数   |
|-------------------|---------|----------------|--------|
| 幼稚園               | 19      | 1, 114         | 58     |
| 小学校               | 141     | 65, 276        | 3, 351 |
| 中学校<br>中等教育学校(前期) | 63<br>1 | 28, 822<br>349 | 1, 703 |
| 高等学校<br>定時制 含む    | 8       | 5, 913         | 457    |
| 特別支援学校            | 1       | 478            | 169    |
| 合計                | 233     | 101, 952       | 5, 738 |

# 本市の目指す教育

「心身ともにたくましく、思いやりのある人」

知、徳、体の調和のとれた力

- ・生きるための  
基礎・基本となる力
- ・規範性
- ・感性
- ・体力
- ・コミュニケーション



# 目指す教育を実現するために

---

1. 平和教育プログラムの推進
2. ひろしま型カリキュラムの推進
3. 教育の絆プロジェクトの推進
4. 広島みらい創生高等学校の開校

# 1 平和教育プログラムの推進

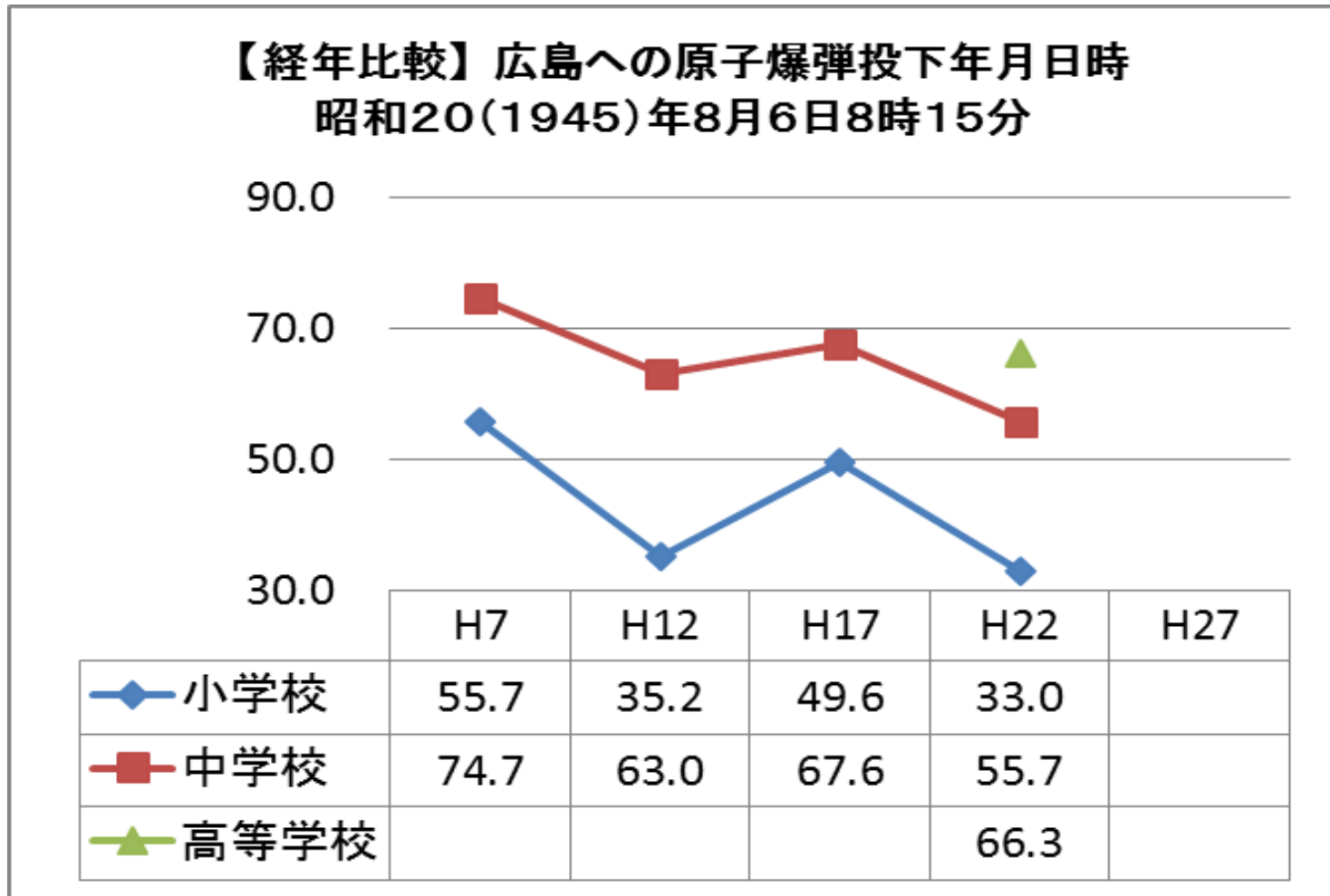


平和教育プログラム  
「ひろしま平和ノート」

- ◆ 被爆の実相や戦争等に関する知識
- ◆ 課題を解決するための思考力・判断力・表現力
- ◆ 自他を敬愛し、他者とよりよく関わる技能
- ◆ 人や自然を尊重し、世界平和を愛する心情

# 平和に関する意識実態

広島市に原子爆弾が投下されたのは何年何月何日何時何分ですか。

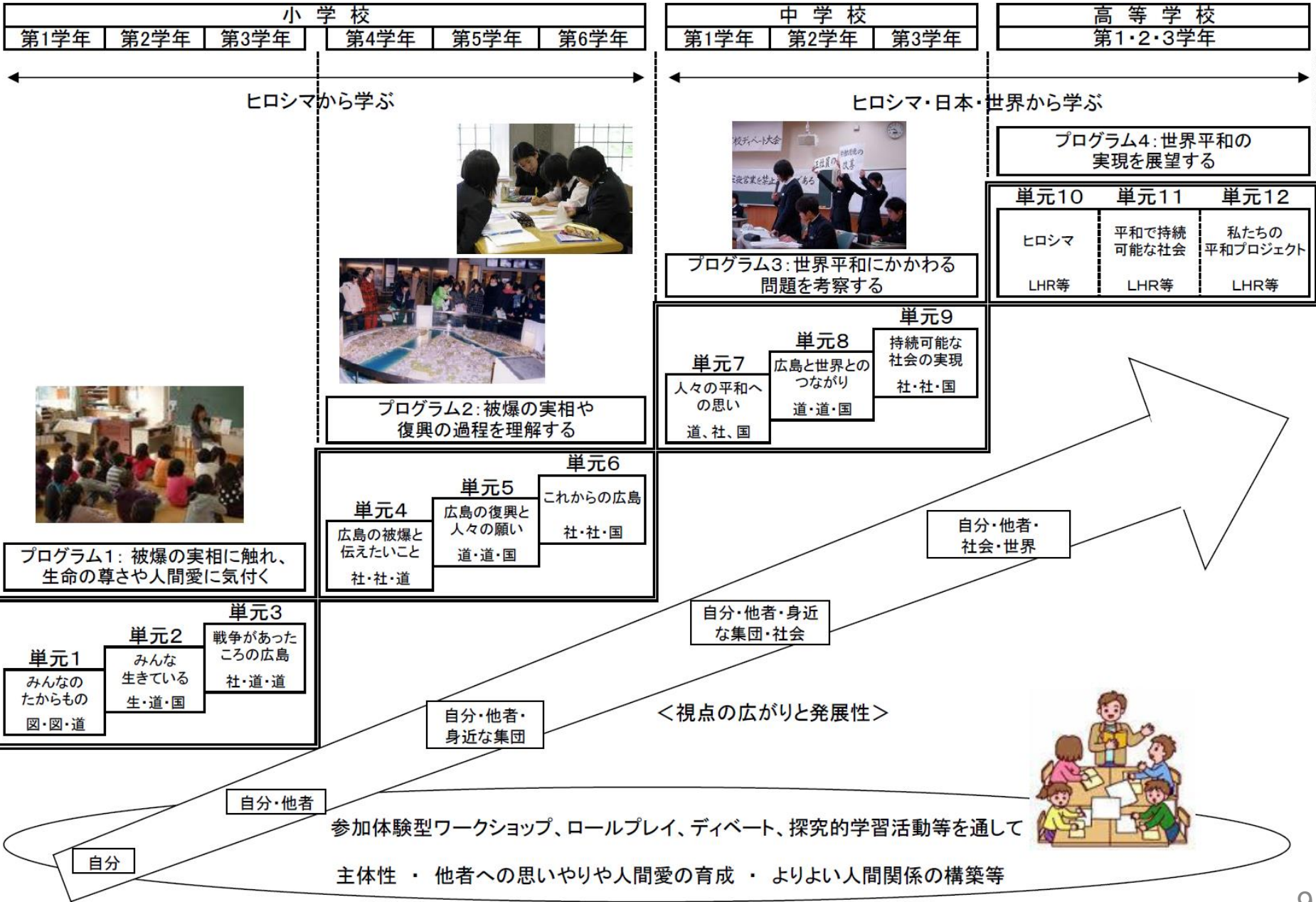


※ 「平和に関する意識実態調査(平成7年度から5年ごとに実施)」より

※ 高等学校への調査は平成22年度より実施



# 平和教育プログラムにおける学習イメージ



# 平和教育プログラムの推進 ひろしま平和ノート

## プログラム1 (小1~小3)

- 被爆の実相に触れ、生命の尊さや人間愛に気付く



## プログラム2 (小4~小6)

- 被爆の実相や復興の過程を理解し、郷土の発展に努めた人々に対する敬愛や感謝の念を深める

# 広島復興と人びとの願い(小学校5年)

## 学習1 (気づく) 「戦争・原子ばくだんがうばったもの」

(道徳の時間)

被爆によって差別を受けた被爆者はどのような思いだったのだろう

役割演技  
ペアトーク 等

気づく

- ・被爆の苦しみ
- ・戦争の非人間性



## 学習2 (考える) 「復興と人びとの願い」(道徳の時間)

市民のライフラインである水道を守った堀野さんは、どんな気持ちで壊れたポンプを見つめていたのだろう



自分が守りたい広島(もの・心)は何かを考えよう

みんなが安心して  
らせる町

市民がもつ平和  
への思い



# 広島の復興と人びとの願い(小学校5年)

## 学習3 (発信する) 「復興・発てんののにない手として」(国語科)

広島市の復興の過程を知り、復興や発てんののにない手として、今の自分にできることを考え、意見文にまとめよう

被爆者はどんどん高齢になっている。  
学習したことをたくさんの人に伝えていきたい。

時分も参加したフラワーフェスティバルにも平和への願いが込められていることを知った。

みんなが生き生きといきていることが平和につながる。

復興に尽力した人の思いを受け継いでいきたい。

### 意見文

小学校6年  
「平和への誓い」  
へ繋がる

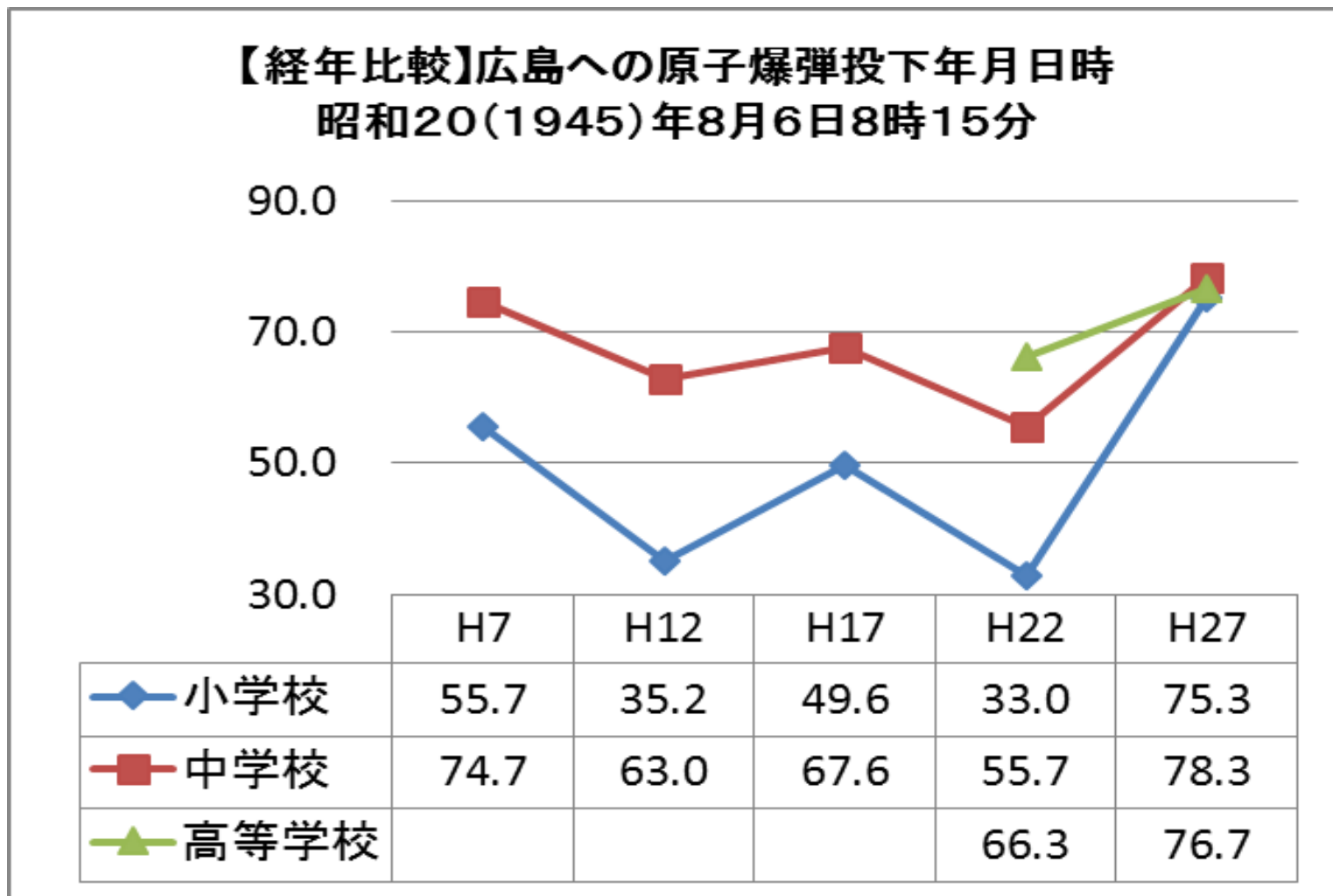


広島平和記念式典  
平和への誓い

# 平和に関する意識実態①

「平和に関する意識実態調査(平成27年11月)」より

広島市に原子爆弾が投下されたのは何年何月何日何時何分ですか。

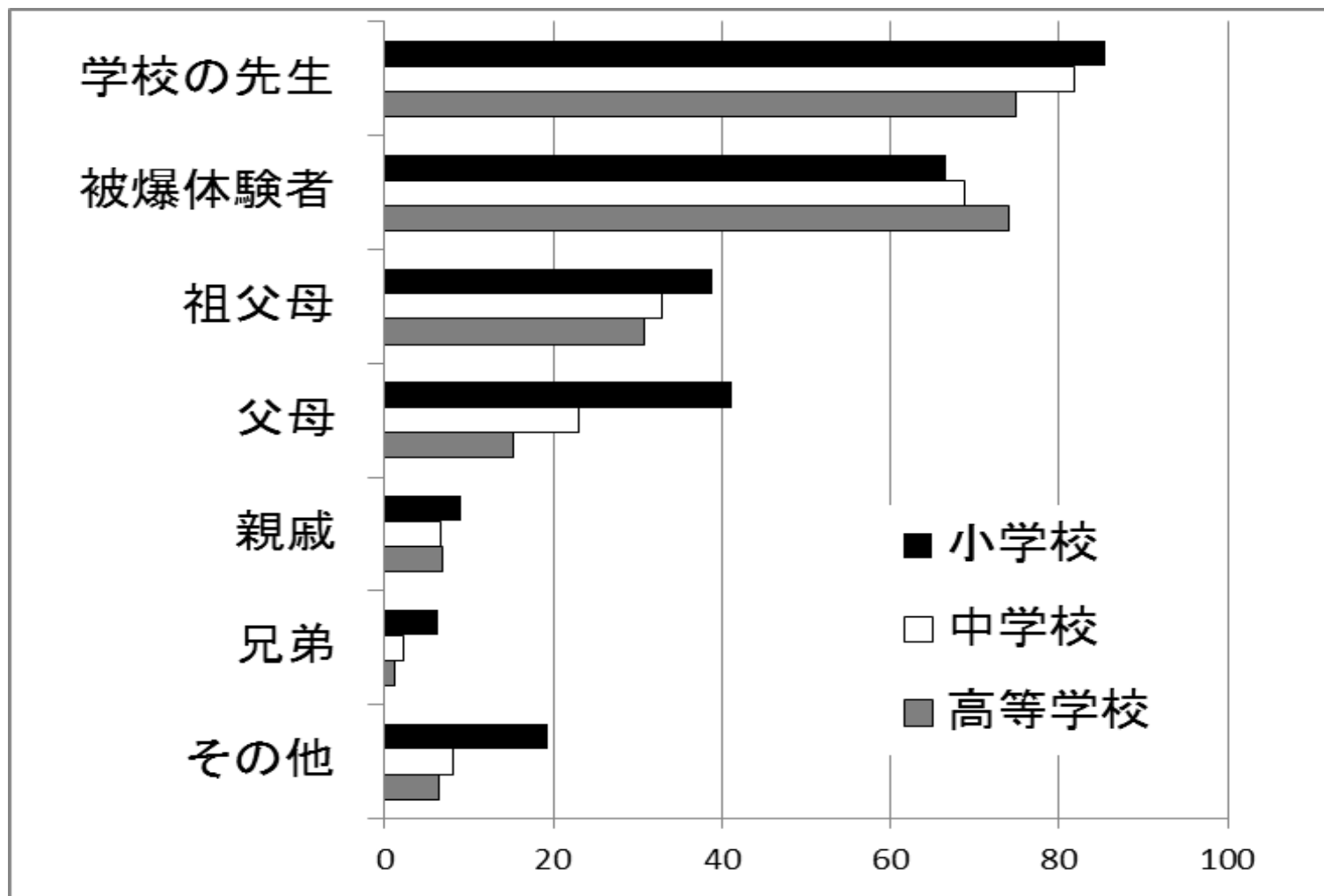


※ 高等学校への調査は平成22年度より実施

# 平和に関する意識実態②

「平和に関する意識実態調査(平成27年11月)」より

あなたは、広島市に投下された原子爆弾や戦争のことについて、誰から教わりましたか。(複数回答)



## 2 ひろしま型カリキュラムの推進

- ① 小・中学校9年間を見通した教育  
《児童生徒の発達段階を考慮》
- ② 言語・数理運用科の新設(小5～中3)  
《全国唯一の教科》
- ③ 小学校英語科の新設(小5・6)  
《国に先駆けて実施》

★研究開発校等における実践研究【平成19年度(2007年度)から3年間】  
★全市立小・中学校で実施【平成22年(2010年)4月～】

# ①小・中学校9年間を見通した教育

| 前 期                | 後 期                   |
|--------------------|-----------------------|
| 小1～小4              | 小5～中3                 |
| 学びの基盤づくりと<br>基礎の徹底 | 思考力・判断力・表現力の<br>向上と発展 |

読み・書き・計算等の  
基本的な知識・技能の定着

基礎的な知識・技能の活用

国語・算数の帯時間  
(1日15分授業)

言語・数理運用科  
小学校英語科



## ②言語・数理運用科の実施

- 各教科で身に付けた知識・技能をしっかりと活用し、思考・判断し、自分の考えを適切に表現できる。  
広島ならではの題材など身近な事柄を教材に！
- 学習したことが実生活で活用できることを実感し、学習することに有用感を持つことができる。



グループで意見を述べ合い、考えを深める



自分の考えを分かりやすく発表する 17

# <教材例>

## 第6学年「100円パーキングの秘密」

何の看板  
でしょう？

「夕方6時から朝の9時まで駐車したら、料金はいくらかかりますか？」



この写真資料から情報を取り出します。

# 情報の取り出し

児童が取り出した情報

## A 駐車場看板から取り出した情報

- 100円で駐車できる
- 24時間駐車できる
- 8:00から20:00までは  
20分で100円
- 20:00から8:00までは  
60分で100円
- 20:00から8:00までは  
500円で打ち切り
- 昼より夜は駐車料金が安い

# 思考・判断①

児童は、一人ひとりがそれぞれの方法で考え解決し、表現します。

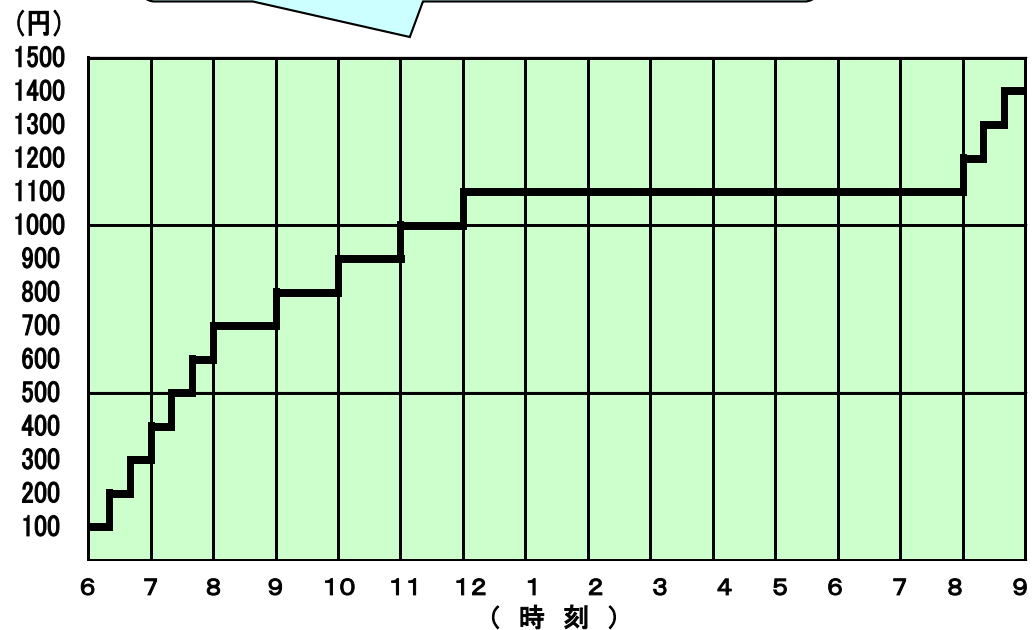
## 言葉や式を活用した児童

夕方の6時から夜の8時まで  
 20分で100円だから1時間で300円  
 $100円 \times 3 = 300円$   
 夕方6時から8時まで2時間  
 $300円 \times 2 = 600円$   
 夜の8時から朝の8時まで  
 料金500円で打ちきりだから500円  
 朝の8時から9時まで  
 1時間だから300円  
 $600円 + 500円 + 300円 = 1400円$

## 表を活用した児童

| 時間 | 6 | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12   | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 料金 | 0 | 300 | 600 | 700 | 800 | 900 | 1000 | 1100 | 1100 | 1100 | 1100 | 1100 | 1100 | 1100 | 1100 | 1400 |

## グラフを活用した児童





## 思考・判断②

違う駐車場に止めた場合の料金も考えます。

2つの駐車場の料金の違いから、駐車場経営者や看板の制作者の意図を考えます。

**パーキング**

当駐車場ご利用の際は入口の駐車場約款を必ずお読み下さい  
当駐車場ご利用時は約款をご理解ご納得いただいたものと判断させていただきます

**100円** **P**

|            | 平日  | 土・日・祝 |
|------------|-----|-------|
| 8:00~20:00 | 30分 | 10分   |
| 20:00~8:00 | 60分 |       |

緊急連絡先

---

**昼間** (8:00<sup>?</sup>20:00) **最大800円** (土・日・祝を除く平日のみ)

---

**夜間** (20:00<sup>?</sup>8:00) **最大300円** (毎日)

# 表現

- ・P
- ・終日 60分 100円
- ・月曜日～土曜日  
20:00～7:00  
(夜間)最大500円
- ・日曜日 1日 最大500円

この条件の看板を、駐車場の経営者になったつもりでデザインしよう。

これまでの学習から、看板の制作者の意図を考え、その後、自分で100円パーキングの看板を意図をもって考え表現します。



# ③小学校英語科の実施

## 国に先駆けて全小学校(第5・6学年)で実施

小中学校の5年間を見通した英語教育の実現

- 英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しむ
- ことばや文化への関心を高める
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる

国は週1時間

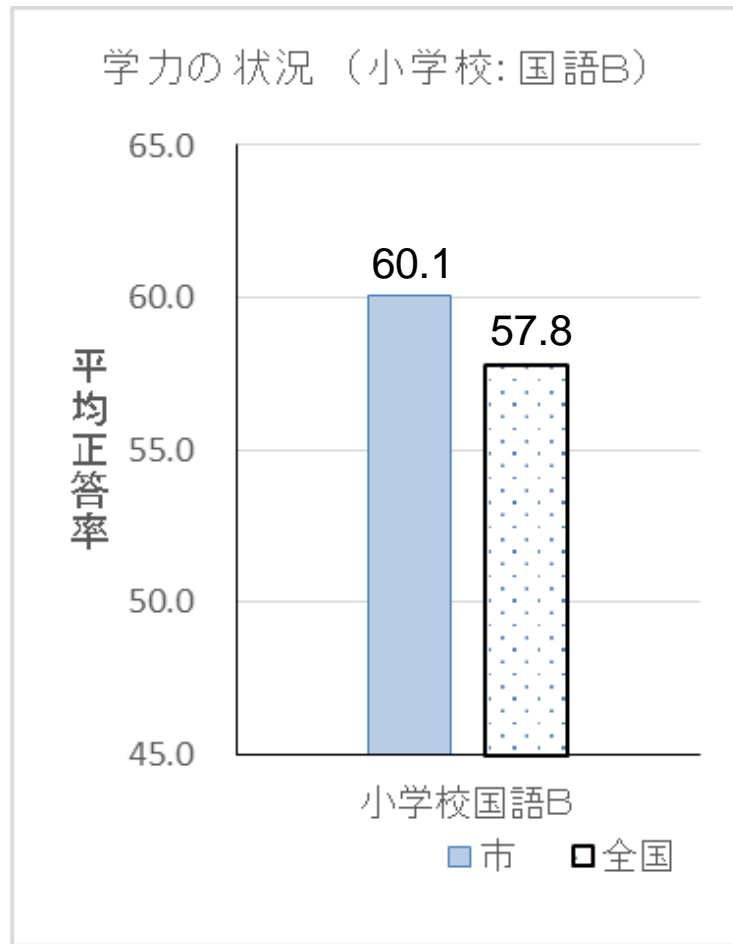
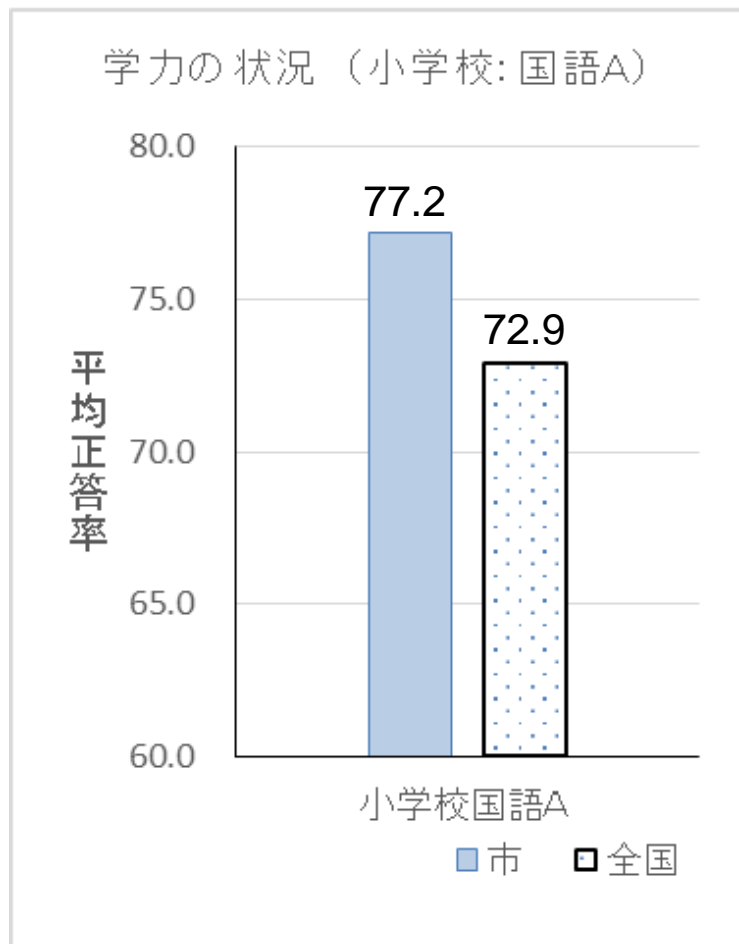
- 授業時間: 週2時間(45分授業1回と15分授業3回)
- 指導体制

学級担任と英語指導アシスタント(AIE)とのTT

★ AIEは、広島市単独で90名の採用。全142校の45分授業へ配置。

# 学力の状況①(小学校国語)

「平成28年度全国学力・学習状況調査(平成28年4月)」より



※ 調査対象:小学校第6学年

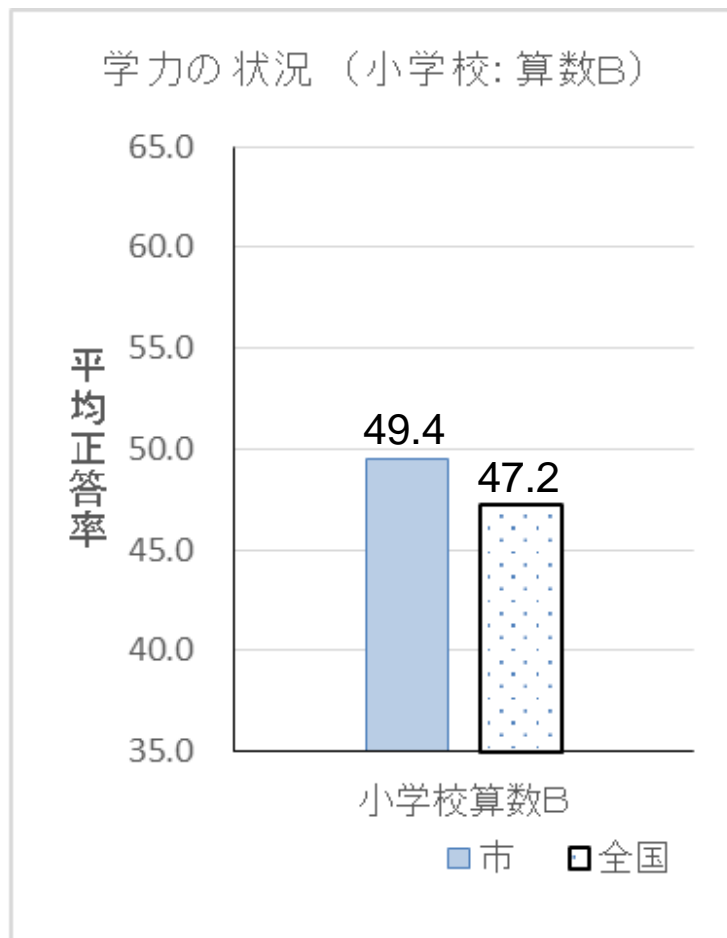
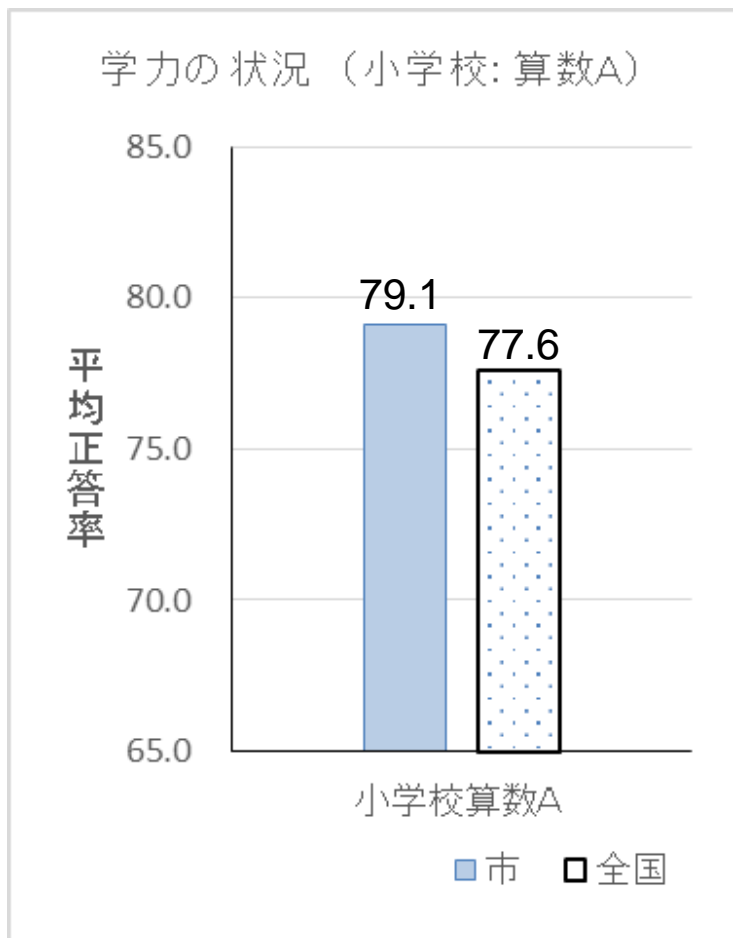
A問題:主として「知識」に関する問題

B問題:主として「活用」に関する問題



# 学力の状況②(小学校算数)

「平成28年度全国学力・学習状況調査(平成28年4月)」より



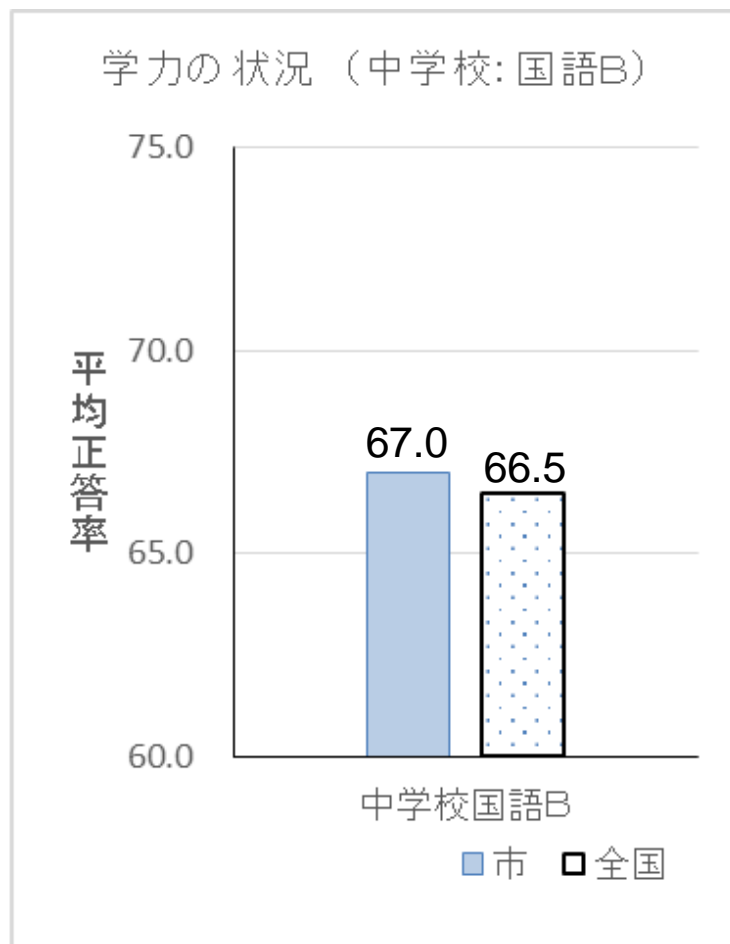
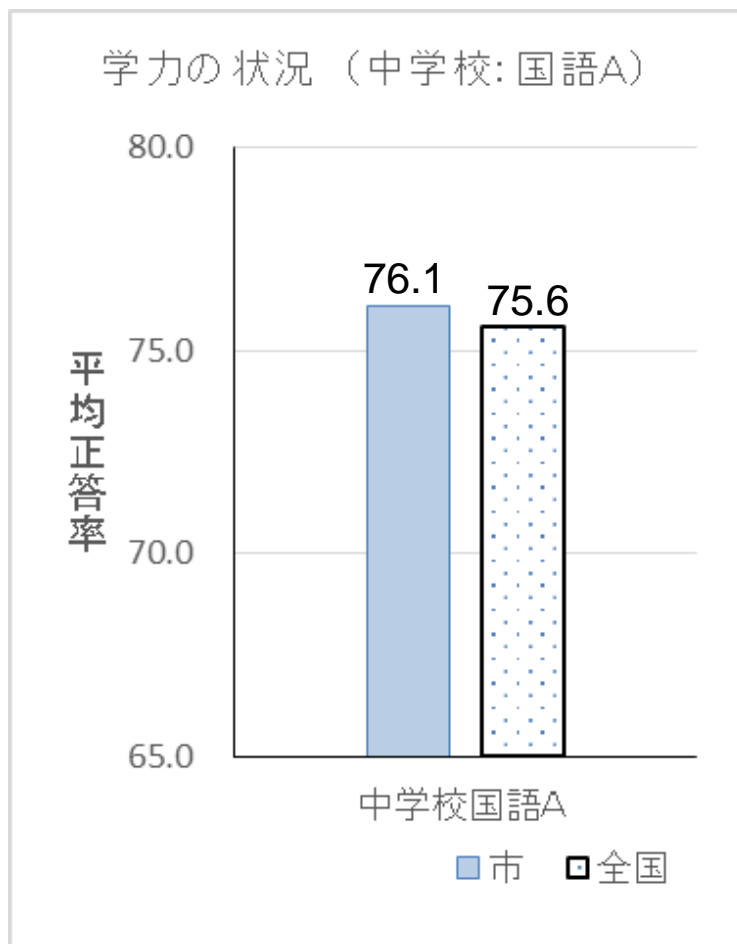
※ 調査対象: 小学校第6学年

A問題: 主として「知識」に関する問題

B問題: 主として「活用」に関する問題

# 学力の状況③(中学校国語)

「平成28年度全国学力・学習状況調査(平成28年4月)」より



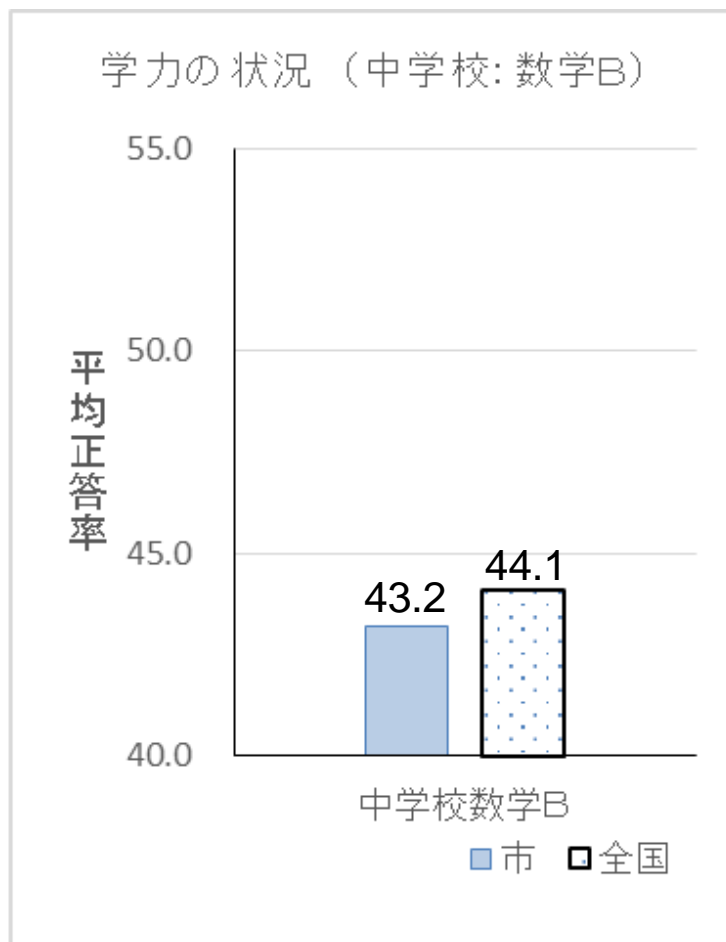
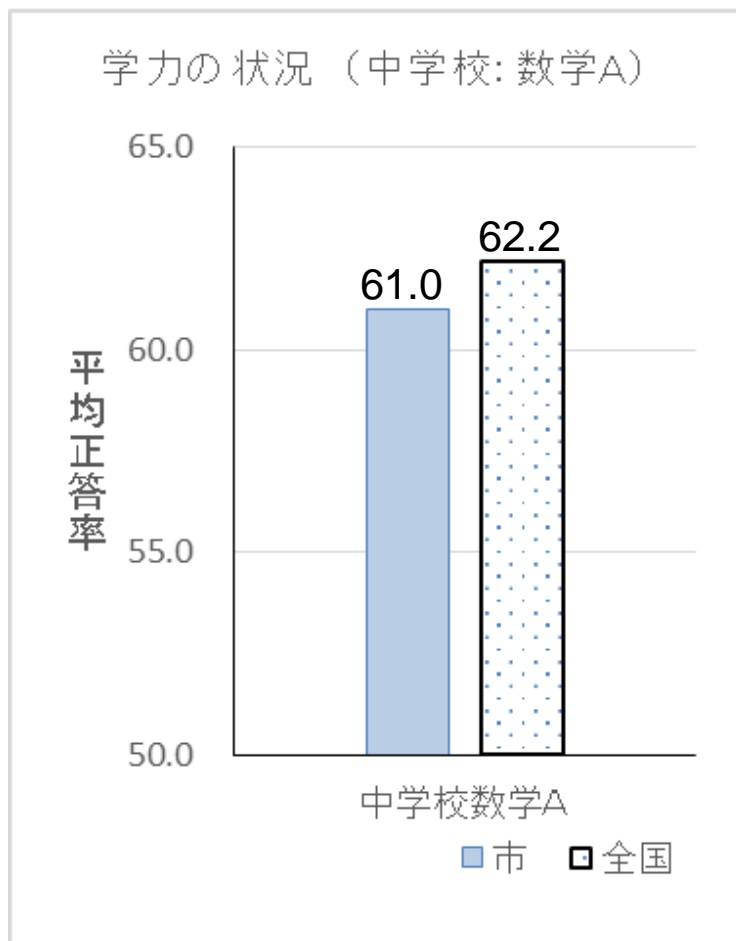
※ 調査対象: 中学校第3学年

A問題: 主として「知識」に関する問題

B問題: 主として「活用」に関する問題

# 学力の状況④(中学校数学)

「平成28年度全国学力・学習状況調査(平成28年4月)」より

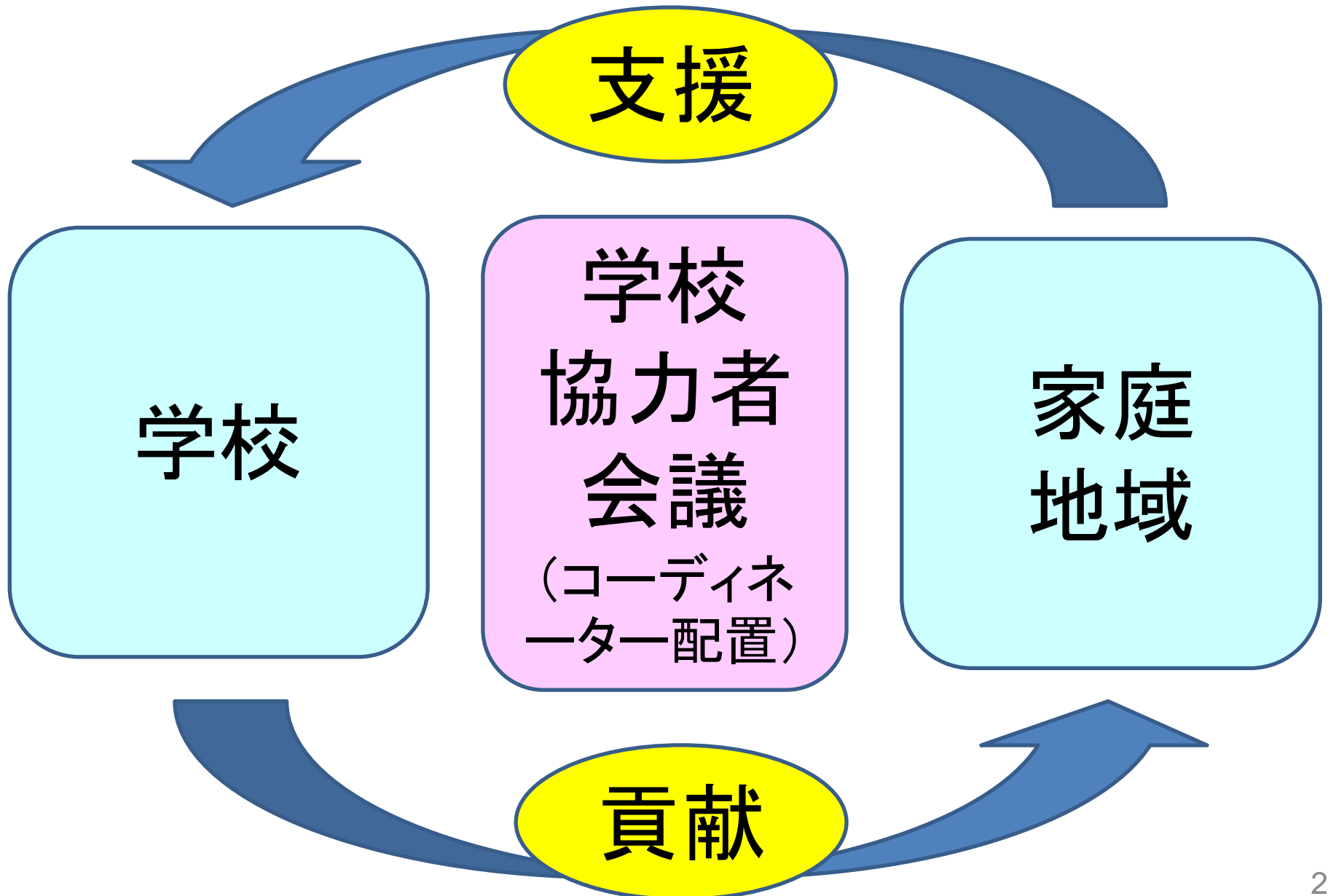


※ 調査対象: 中学校第3学年

A問題: 主として「知識」に関する問題

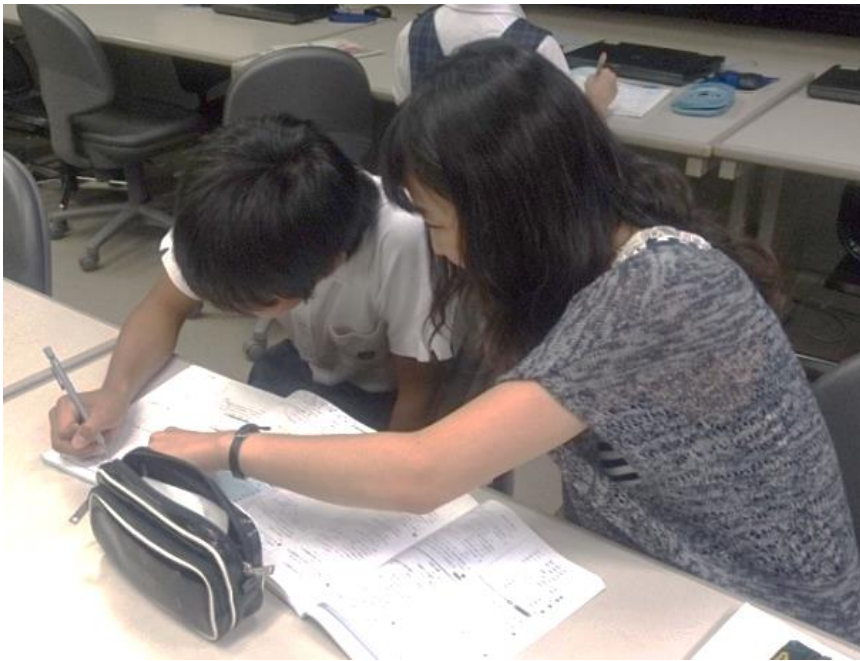
B問題: 主として「活用」に関する問題

### 3 「教育の絆」プロジェクトの推進



# 学習支援の取組

- 「放課後学習会」、「夏休み学習会」等



大州中学校区

東原中学校区



# 取組の成果

---

一人一人の生徒に寄り添った丁寧な  
学習支援

- 生徒の学習意欲が向上
- 生徒の学習時間が増加
- 生徒が学習支援者に学校生活での不安や悩みを相談
- 生徒と学習支援者の信頼関係が構築

# 地域貢献の取組

## 地域清掃活動の実施



大州中学校区

## 地域緑化活動の実施



庚午中学校区



# 地域貢献の取組

## 地域防災活動への参加



三入中学校区

## 地域行事への参加



東原中学校区



# 取組の成果

---

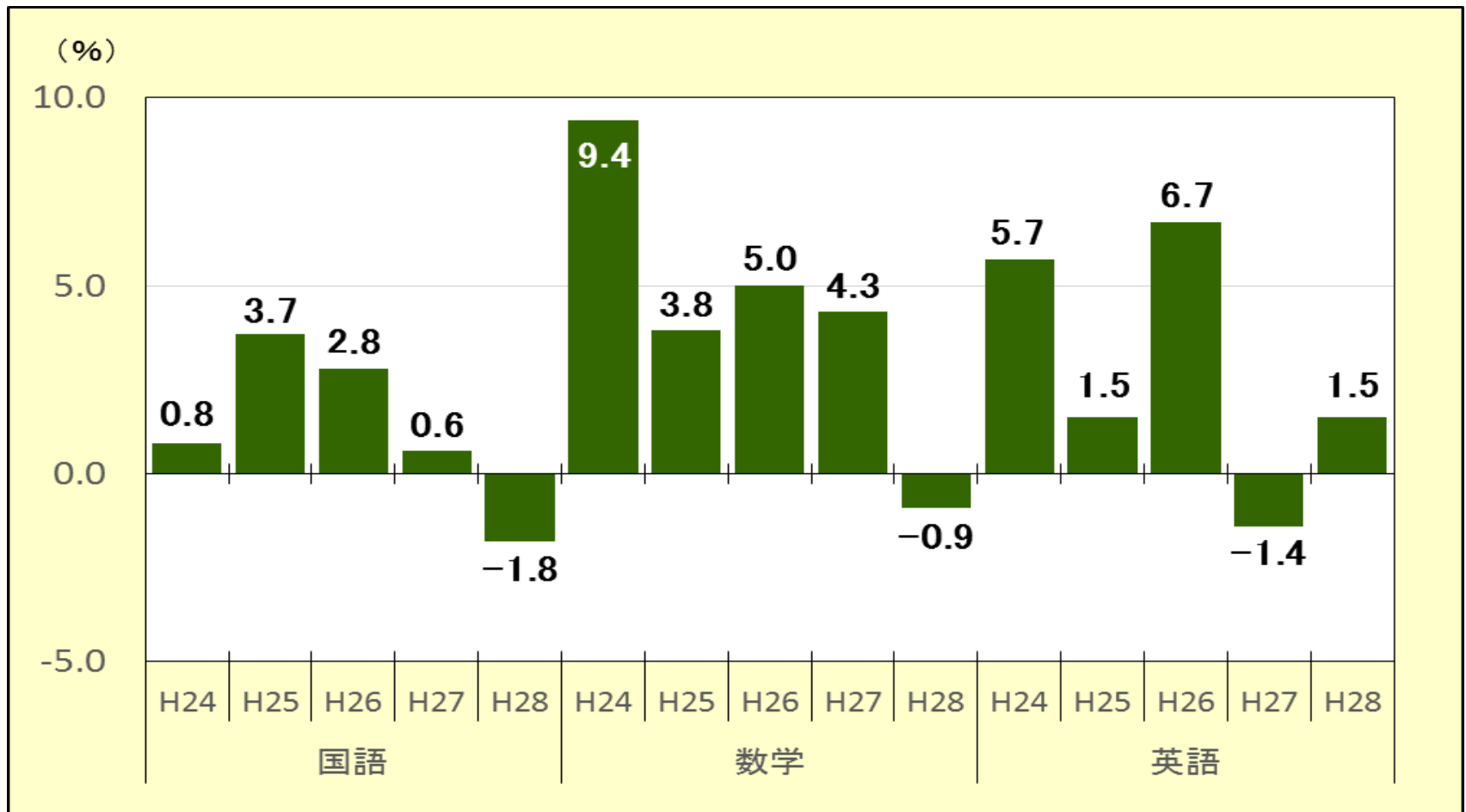
保護者や地域の方から褒められたり、感謝されたりする体験

- 生徒の自尊感情が向上
- 生徒の地域への関心の高まり
- 学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む環境が充実

# 学力について

(「基礎・基本」定着状況調査の結果より)

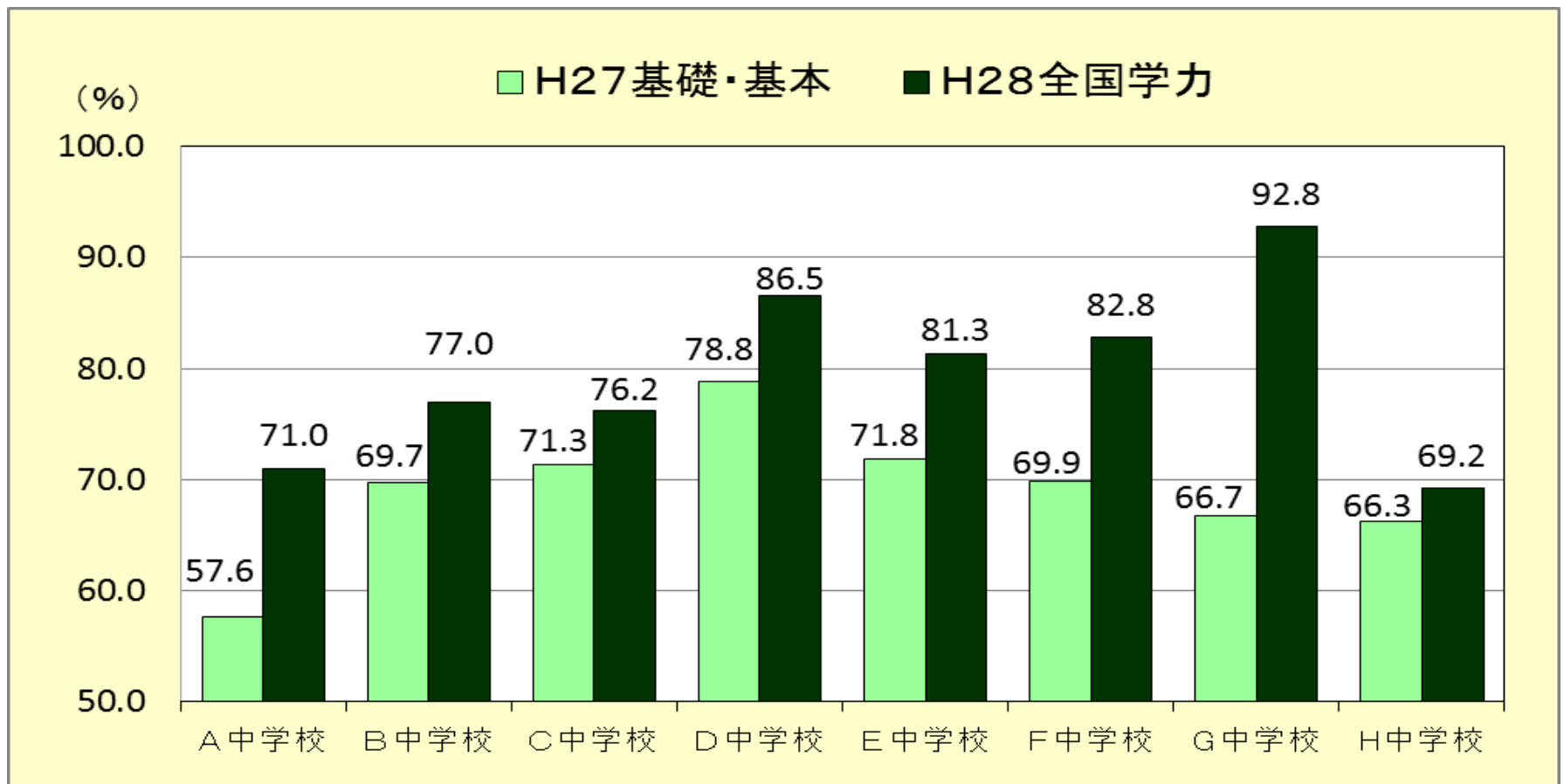
実施校(A中学校)と県の平均通過率30%未満の生徒の割合の差



# 自尊心について

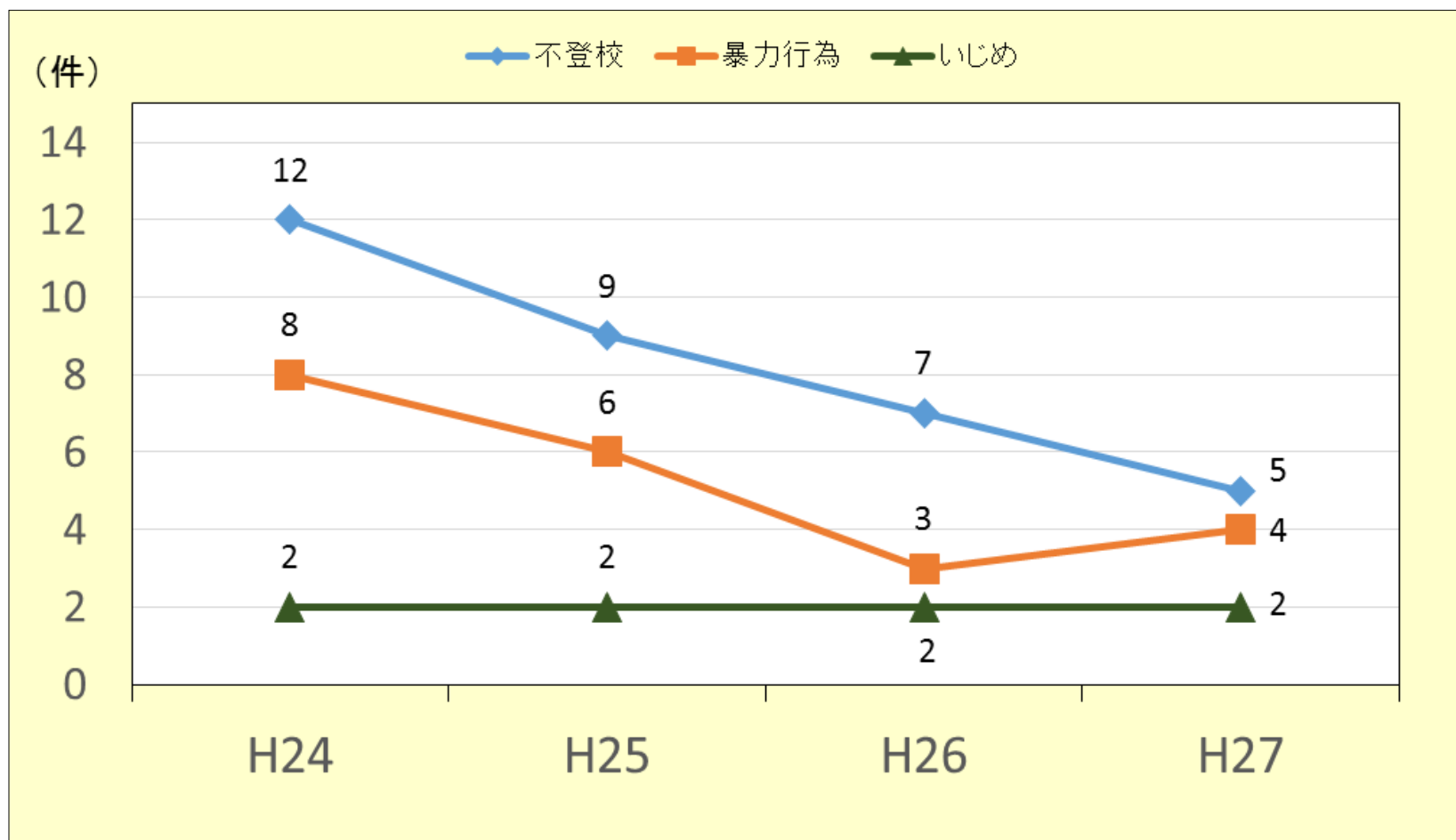
(学力調査の生徒質問紙より)

「自分にはよいところがある」と肯定的な回答をした生徒の割合



# 生徒指導上の諸問題について

実施校(A中学校)の不登校、暴力行為、いじめの件数



# 子どもの学校満足度について

|                         | 小学校   | 中学校   |
|-------------------------|-------|-------|
| 学校へ行くのは楽しい              | 89.5% | 87.9% |
| 学習を最後までやり遂げてうれしかったことがある | 86.0% | 79.4% |
| 夢や目標を持っている              | 91.2% | 73.7% |
| 自分にはよいところがある            | 77.5% | 68.2% |
| 自分のよさは認められている           | 64.1% | 60.4% |

平成28年度「基礎・基本」定着状況調査より

# 4 広島みらい創生高等学校の開校

平成30年4月、  
広島市立広島みらい創生高等学校が開校します。



完成イメージ図

# 広島みらい創生高等学校とは

全国初 県・市による共同整備

生徒の多様なニーズに応じた教育を提供するため、県・市が設置している高等学校の定時制・通信制課程を再編し、新しいタイプの高等学校です。

フレキシブル課程  
キャリアデザイン科(総合学科)

- 平日登校コース  
(定時制の課程)
- 通信教育コース  
(通信制の課程)

再  
編  
整  
備

【定時制の課程】

広島県立広島国泰寺高等学校  
広島県立広島観音高等学校  
広島県立海田高等学校  
広島市立大手町商業高等学校  
広島市立広島工業高等学校

【通信制の課程】

広島県立西高等学校

## 平日登校コース(定時制の課程)

午前・午後・夜間の幅広い時間帯に授業を行うため、自分の学習計画やライフスタイルに合わせて学習時間帯を選択し、自分の時間割を作成して学習することができます。

## 通信教育コース(通信制の課程)

自学自習が中心ですが、自分の学習計画やライフスタイルに合わせて、学習をすすめることができます。各教科・科目の単位を修得するには、スクーリングで面接指導へ出席、レポートを提出して添削指導で合格及び試験で合格の3つが必要です。

## 定通併修制度

どちらのコースに所属する生徒も、他コースの教科・科目を履修することができます。

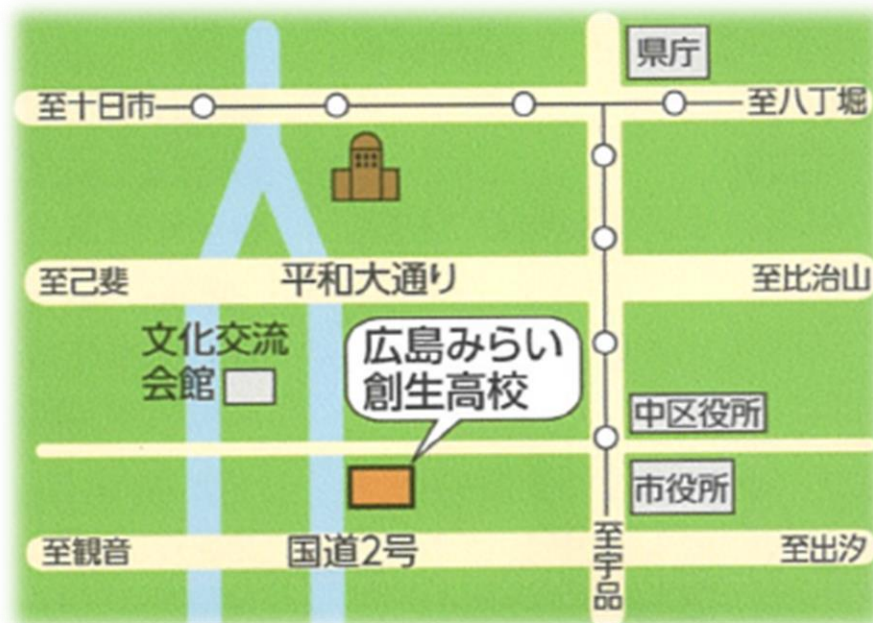


## 入学定員(予定)

平日登校コース 240人・通信教育コース 400人

平成33年度には、平日登校コースは960人、  
通信教育コースは1600人となり、全校生徒数  
が2500人超の県内最大規模の高校になります。

## 所在地



# 本市教育の推進にご支援を

---



ありがとうございました